

○歴史的風致維持向上計画認定都市に対して、以下の観点から、進捗評価、中間評価・最終評価からなる進行管理・評価制度を導入。

- ①PDCAサイクルの導入により、計画を着実に推進
- ②協議会、有識者等の第三者の客観的な視点を取り入れることにより、計画の質を担保
- ③計画の進捗状況を公開することにより、アカウンタビリティを確保

＜進捗評価＞ 毎年度実施

①施策・事業の進捗状況(アウトプット)の評価 【自己評価】

- ・組織体制、景観形成施策、整備及び管理事業、文化財の保存活用、効果・影響等

＜中間評価／最終評価＞ 中間年度及び最終年度に実施

②計画の達成状況(アウトカム)の評価 【自己評価】

- ・方針の達成状況、計画の波及効果、歴史的風致の維持向上の状況について評価

③事業の質の評価 【外部評価】

- ・歴史・文化、景観等の観点から適切な整備かなど、質について外部有識者等による評価



2期計画へ反映